

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会
2. 国土交通記者会
3. 国土交通省建設専門紙記者会
4. 北海道庁道政記者クラブ
5. 札幌市政記者クラブ
6. 北海道開発記者クラブ
7. (株)建設行政新聞社

日時：令和 8年 9月30日 (14:00)



国立研究開発法人土木研究所
令和 8年 9月 30 日

舗装の脱炭素に一步前進

～植物や廃プラスチックはアスファルトの代わりとなるか。

本当に二酸化炭素を減らすのか～

土木研究所は、舗装会社および関連メーカーとの共同研究により、アスファルトに代わる新材料の耐久性評価、ならびにライフサイクル全体（原料調達から廃棄まで）における CO2 排出量算出のための「共通ルール案」を初めてとりまとめました。本成果により、従来技術と同等の性能確保に向けた考え方が整理され、舗装分野におけるカーボンニュートラル実現に向けた代替材料の研究開発が加速することが期待されます。

【No.641 カーボンニュートラルに向けた新たな舗装材料開発に関する共同研究報告書】

ホームページに上記を含む「共同研究報告書」を掲載しました

1. 掲載資料

○土木研究所資料 * 研究所において実施した調査、試験及び研究の成果又は調査、試験及び研究を進めていく上で必要な資料をまとめたものに係る研究の成果をまとめたもの。

資料 NO	タイトル	著者
4470	令和 8 年度 土木研究所外部評価委員会 報告書 (第 5 期中長期計画)	研究企画課 研究評価・国際室

○共同研究報告書 * 共同研究に係わる研究の成果をまとめたもの。

資料 NO	タイトル	著者
641	カーボンニュートラルに向けた新たな舗装材料開発に関する共同研究報告書	材料資源研究グループ、 道路技術研究グループ(舗装)
642	舗装路面機能保持のための表面処理工法の適用性に関する共同研究報告書	材料資源研究グループ、 日本アスファルト乳剤協会
643	トンネルの更新技術に関する共同研究報告書 ークイック re インバート 設計・施工マニュアル(案)ー	道路技術研究グループ (トンネル)

2. 掲載先 以下のウェブページから閲覧できます。

○土木研究所資料 URL : https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/100/2026/
○共同研究報告書 URL : https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/110/2026/

【問合せ先】

国立研究開発法人 土木研究所

企画部 業務課

課 長

ますお たけし
増尾 健

主 査

かたおか たかゆき
片岡 貴之

電話番号 029-879-6754